

## 区長と中学生との対談

住吉区制 100 周年記念「中学生による住吉区の未来に向けた提案」として、10 月 25 日のすみよし区民まつりで、墨江丘中学校の 3 つのグループから区長へプレゼンテーションしていただきました。

その後「発表を終えて自分自身で変わったと思うこと」等についてアンケートを依頼し、学校のご協力によりご回答いただきました。

## 【当日の提案内容】

## 1 年生の提案『私たちができる社会地域貢献とは』

住吉区といえば路面電車などもあるが、多くの人が思い浮かべるのは住吉大社ではないか。

ただし本来神社は、神様に感謝し、静かにお祈り捧げる神聖な場所にも関わらず、交通渋滞や騒音など、観光客の増加等によって、住吉大社の本質が失われつつある。

また、住吉大社が残す本来の奥深さや、魅力を知ろうとする人は残念ながら最近減ってきている。

このままでは住吉大社が 2000 年の時を超えて、守り続けてきた歴史と本質がいつか本当に失われてしまうかもしれない。

## ○提案

住吉大社の魅力を再発見し、その本質を理解する必要がある。住吉大社が誇る 2 つの特別な場所（反橋・五所御前）などは、場所自体は身近には感じているが「どのような場所なのか」の本質はあまり知られていない。住吉大社に限らず、表面的な魅力だけでなくその本質に目を向けることで、私達は歴史を継承し、未来へつなぐことができるはず。

## 2 年生の提案『住吉区の魅力や広報の今後の方向性について』

住吉区の魅力について

- ・登下校の際、地域の方々が見守り隊として活動してくださっている安心安全なまち。
- ・高層ビルが少なく、桜などの木が多いため、景観がよく季節を感じることでできる自然豊かなまち。
- ・大きな病院があり、医療体制が整っており、通院や医療相談しやすい健康的に暮らすことができるまち。
- ・夜でも静かなため、リラックスすることができ、落ち着いて過ごすことができる住環境の魅力のまち。
- ・しかしながら、住吉大社や熊野街道のような地域の歴史や文化、地理を知る機会が少ないことが課題。

## ○提案

区民センターなどでの若い世代の人への講習会やイベントを定期的に行う。

学校の授業の一環としての地域、自分の住んでいる町について学習する活動を今以上に行う。

放課後の講習会などで若い世代の人に伝えていく場をつくる。

### 3年生の提案『住吉区を盛り上げるために』

住吉区は若者の割合が低いので若者を増やしたい。

そのため、若者が集まってテレビで紹介されるぐらい有名になる。「15%来客者数を増やす」を目標に設定した。

#### ○提案

住吉大社周辺の粉浜商店街でイベントを実施する。

- ・ スプレーアート → 流行りのアニメやイラストなどを題材として集客を増やす
- ・ 大食い選手権などの参加型企画 → 商店街の活気が良くなる。食品ロスが減る
- ・ 夜のライトアップ、お土産の販売 → この町の良さを活かす
- ・ 多言語の看板の設置 → 外国人観光客にも安心して楽しんでもらえる

#### 【プレゼン後のアンケート】

アンケート項目	とてもできた	少しできた	どちらとも言えない	あまりできなかった	まったくできなかった
グループ内で自分の意見を遠慮することなく言えましたか？	8	1			
自分で考え、自分の判断で物事を決めたり、行動することができましたか？	9				
自分の役割に責任を持って行動できましたか？	8	1			
グループ内の各メンバーの思いや考えを大切に、尊重して行動することができましたか？	7	2			
今後の学校での活動などにおいて自信ができましたか？	4	5			

#### ◎自分自身で変わったと思うこと

##### 1年生

- ・ 正確性のある情報と、聞いている人にわかりやすい信憑性のある言葉で伝える力がついた。
- ・ 誰かの前に立ってプレゼンを発表すること。いただいたフィードバックを基により良い資料を作っている力がついたと思います。

##### 2年生

- ・ 発表する時に、より多くの人に伝わりやすくするために、スライドや自分で話す文章をより丁寧にするようになった。大勢の人の前に立つことに怖さを感じにくくなった。
- ・ 自分は、すごく素敵な町に住んでいて、恵まれた環境で育っているので、それを与えられるだけでなく、将来自分が与えられるよう、今からたくさん勉強して、地域や社会に貢献できるような人になりたいと思いました。
- ・ 今まで知らなかった地域の歴史や地理について理解することができました。

##### 3年生

- ・ 住吉区の問題以外に対してもさまざまな問題の解決に前向きに取り組めるようになりました。
- ・ 話している時に、どう見られてるかについて考えられるようになったと思います。
- ・ 発表する力と、考える力がついたと思う。